

地域防災訓練の支援活動について

開催日 : 平成 27 年 7 月 25 日 (土) 16:00~20:00
開催場所 : 堺市立鳳南小学校
参加者数 : 防災研究会 5 人、地域 196 人 (大人 53 人、こども 143 人)

1. はじめに

堺市西区の鳳南校区連合こども会では、巨大地震の発生に備えて「地域の将来を担うこども達の命を守るには何をすべきか」を考えるため「こども防災訓練」を実施している。こども達の命を守るために必要な事は、①地震から命を守るための正しい知識を得る、②地震が発生した時に正しい行動がとれるように日頃から訓練する、ことである。そこで、今回は「避難所生活を体験する」をテーマとして鳳南小学校の体育館において「避難所訓練」の開催を企画していた。そこで、公益社団法人日本技術士会近畿本部（登録）防災研究会では、この地域防災訓練の計画、運営、技術指導を担当した。特に今回の活動では「非常時にこども達が主体的に行動できる」ことを目的として、①こども達の創意工夫で避難所を設営する、②食事の準備・配給はこども達が行う、③こども達の心をひとつにする、ことを提案した。以下に今回の防災訓練の内容を報告する。

2. 実施内容

2.1 ダンボールでの避難所設営

15 時 30 分より受付を開始して体育館に全員集合。16 時より防災訓練の内容説明と防災 DVD の観賞を行い、その後約 1 時間でダンボールを使用して避難所設営を行った。避難所設営のチーム編成はこども会単位を基本として男女別チームとし、参加者が少ないこども会は合同チームとした。男子 3 チーム、女子 4 チームで避難所設営を開始。各チームの避難所面積は 1 人当たり 2 m²として割り付け、使用するダンボール箱は 1 人当たり 3 個を基本として配給した。

避難所設営においては、まず初めにダンボールで床を敷き詰め、その周囲に壁を造成することを標準とし、机、椅子、ベッドなどは各チームの創意工夫により作成させた。ダンボールでの避難所作りは、こども達にとって大変楽しい作業のようで、参加者全員が熱心に取り組んでいた。

避難所完成後には、各チームの 6 年生リーダーより「どのような考えで避難所を作ったか」について発表してもらい、西濱氏がそれぞれそれぞれの避難所について講評を行った。



ダンボールでの避難所設営の様子



避難所設営の指導をする杉本氏



避難所設営の指導をする貴志氏



熱心に避難所設営するこども達

2.2 炊出し訓練

夕食の炊出しはカレーライスとした。ご飯は堺市西区役所から提供して頂いたアルファ米 200 食を使用。カレーは品質の安定したレトルトカレーを購入した。アレルギー対応としては、事前に参加申込書にその旨を記載して頂き、アレルギー対応カレーを別途準備した。

アルファ米の炊出しとカレーの温めは、火傷などのリスクを配慮して大人の指導員が行った。炊き上がったご飯とカレーの配給は、中学生ボランティアと6年生の女子が担当した。食事は、自分たちが作った避難所で、みんなで美味しくいただいた。



夕食の炊出し準備



6年生によるご飯の配給



中学生によるカレーの配給



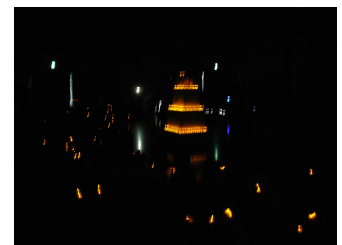
避難所でこども達と食事

2.3 連帯感を高めるイベント

夕食が終了した後、19時から約30分間イベントを開催。このイベントは、こども達の連帯感を高めることを目的として実施した。体育館の半分をイベント広場として設営し、その中央にライトタワーを設置。ライトタワーはダンボール箱で作成し、各段には小さなロウソク形のLEDライトを300個配置。イベントの開始時に全ての電気を消灯することで、イベント広場中央に設置されたライトタワーが綺麗に浮かび上がった。その時、こども達からは多くの歓声の声上がり、感動的な場面を演出することができた。その後、全員で3曲の歌をうたい、まさに参加者全員がひとつになった瞬間である。



ライトタワーを取り囲む



真っ暗な中に浮かび上がる

3. おわりに

今回の防災訓練は、地域のこども達にとって思い出に残る行事になったと思われる。企画・運営して感じた事は、こども達が真剣に避難所作りに取り組む姿が、本当に素晴らしく、このこども達が、将来きっと地域防災のリーダーとして成長してくれるであろうことを期待している。

(文責：南側晃一)